

移植後の気温は平年並～やや高い

- ・ 雑草の発生状況を確認し、**除草剤散布は遅れずに！**
- ・ **土壌還元（田ワキ）を抑え分けつを促進しましょう！**

1 移植盛期と活着

今年の移植作業の盛期は5月12日（平年±0日）で平年並でした。移植後の気温は、平年並～やや高く経過しているため活着は全般に良好と思われます。

2 今後の気象予報と生育初期の水管理

1か月予報（仙台管区气象台・5月13日発表）によると、向こう1か月の気温は平年並～高い、日照時間は平年並～少ない、降水量は多いと予想されています。

- ・ 移植直後は風から稲体を保護し、葉からの過蒸散を防ぐため、水深は5cm程度とします。活着後は水深3cm程度の浅水を保って水温を高め、朝・夕の灌がいで水温の日較差を維持して分けつの発生を促進しましょう。また、強風や低温時は深水とします。
- ・ 近年、5月下旬頃から気温が高い傾向にあり、そのため雑草の発生も早まります。さらに土壌還元（田ワキ）や表層剥離が発生する圃場が多く見られます。この状態のままの除草剤使用は、十分な

効果が期待できないばかりか、生育停滞を招きます。除草剤散布のタイミングが遅れないようにするとともに、**除草剤は、使用前に水交換・夜干しを行って田ワキを解消してから使用するよう**にしましょう（左図）。また、除草剤使用後は7日間程度湛水状態を保ち、その後、田ワキ対策のため一度水交換を行いましょ。 (図1)

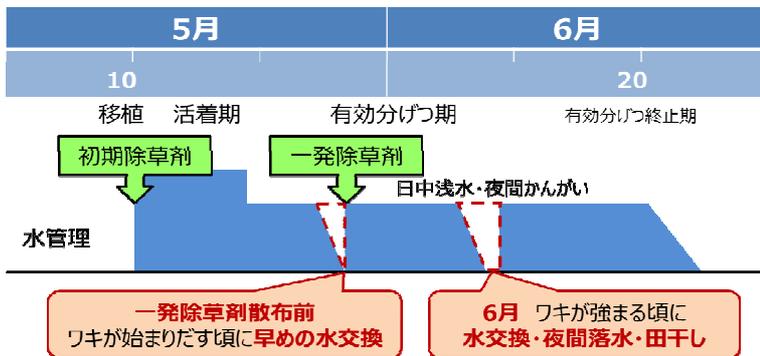


図1 除草剤散布と水交換のタイミング

3 水交換・夜間落水・田干しで田ワキ抑制～

- ・ 田ワキがみられたら速やかに水交換・夜間落水・田干しを行い、分けつの発生と根の健全化を図りましょう。

【 分けつ初期から中期のワキの程度と対策 】

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

STOP ! 農作業事故

春季農作業事故防止運動強化期間 4/10～6/10